



毎月一日発行 定価一年送料共500円 発行所 宗像大社社務本局

宗像大社御用達 神輿装束具 松島神輿製作所 京都市下京区北小通西町西入

近くお祭をもてなす為には扇間は出... 祭典には、秘宝翁面が本殿より



第三回 宗像大社歌詠会詠草 十月六日 於社務所詠草到着順

好天に恵まれて 境内に溢れた人の波...

心配された台風も無事に過ぎ、今年夏頃には平年を下回るかに見えた観測の総計も、其後の天候の回復と風害を受けず順調に成長して、文字通り豊作の秋を迎える事が出来た。

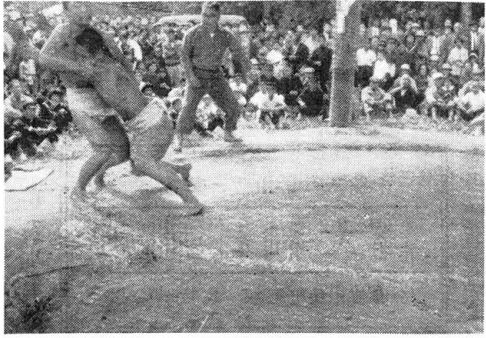
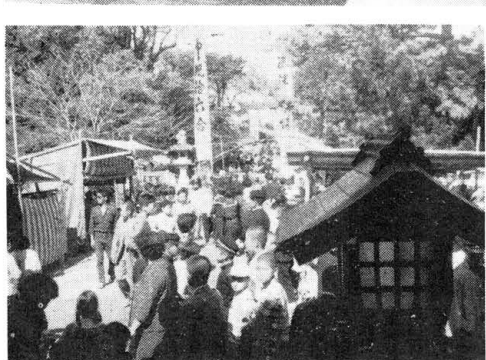
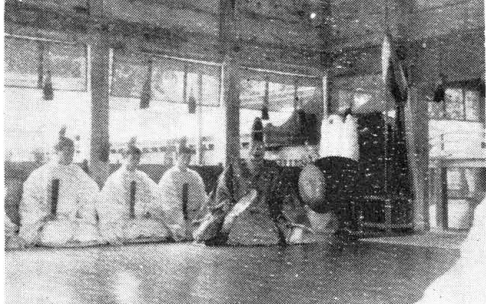
前日迄に境内には露店、見世物等が立ち並んで祭りの気が、いやが上にも盛り上げ、境内は交通通行止となった。この期間に交通安全の御祈願を願う車は更だ道口より一帯の臨時駐車場にお

された。浦安舞は、小野社中が琴の演奏を奏仕して下り、美しい首飾を二一に纏った。氏子祭では、浦安舞が正装して奉仕された。斎王調索上の後、田嶋青年部員が依って、主基地方ゆかりの風俗舞が、又氏子中

阿蒙 香 稚 織田 樫雨 朝なさん(のなき)を感謝する味 覚つれも湧けし 雲に 神楽 船 倭 静けさの台風去つて虫の再月描き 成す裏の松山 村山 吉田佐市郎 草むむにたく虫の喜びにけく 高の踊りにか秋秋

稔りの秋の放生会

放生会(金社秋季祭の通称)が十一月一日より三日迄の間賑かに続行された。



近のお祭をもてなす為には扇間は出られないので、それが一段落して夜に於てから舞する音の響きを聞きながら、境内には、秘宝翁面が本殿より

説一みの虫の空中芸

秋晴れの夜後所必要であるとして木から落ちたり運筆を顧る生活は持合せない、細くても風に吹かれも容易に転落し

目的を定めて、自分たりのう。時計が、カレンダーか、その辺に失敗の不可避の限があるから

う。時計が、カレンダーか、その辺に失敗の不可避の限があるから。これは、目録に於ける事者の

が、人間学は随時随所にあるもの。か、感慨深々とした、舞、風吹かれて自家製の糸垂れ

香 稚 織田 樫雨 朝なさん(のなき)を感謝する味 覚つれも湧けし 雲に 神楽 船 倭 静けさの台風去つて虫の再月描き

宗像大社献詠



水戸 小沢 武
街中へびくろしの森東武館
人吉 久羽 博史
頼にかかるなつ月ほむらつ

東郷 小野 花居
一へんの手をババママの秋祭
反橋は神店ばかり放生会
福間 城野 清子

城野 荻雨
津屋崎 西住喜三郎
勝田 光一
勝田 光一

井浦 良貞
秋野 白衣の袴ひめがさ
街路樹に秋風が来るといつとき

香立喜一郎
井浦 光一
吉野 享志
郵便の採用を待た秋深まり

岩見佳代子
安部真佐子
安部真佐子

独立門の淋しき鐵砲と支え

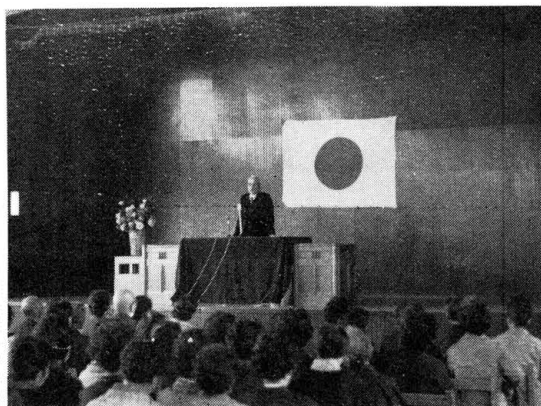
大正 寛

俳句作品集 (四)

企業に於ける人づくり

佐三

生産者と消費者の間介在して
両方の利益をはかる。それ、それ、
の商人あり方であると思つた。



宗像敷庵先生百話

猪とフイモーゼ

インドネシア人は猪
この種猪は浦坂の〇〇
の周辺に住み、お節いさ

衛生的土俗

宗像太郎坊
と云ふ。剛骨な人種である。

日本の民主主義

戦前の場合(その十)

の如く思ふ心になつたのは近年の事
當時は自らも當りなかつた。

天野健一
高柳武久郎と云ふ種族が苦心慘憺

漸く心を回復した
名刀士大丸
士が編出したので漸

次勢を盛り返し大連
際には連つた。相撲の

気回復に及ぶと皆答は
お前番は時勢の移り変わりを知らぬ

かといふ。何故婦人に見物を許さ
さかか若く之を救すならば人気が

怒り回復するがト云フ。
これまでも婦人に見物を許して

イヤそれはいかに終つた日だけ
て毎日入場を致すじゃ。

仰せで御座います。女性は月七日
は僅かに御座います。それだから

勝負は納税させなかつた。それを
答は初日から見せせよ。云々の

はどうか出て来たか「ハイ……」
雑作は「同族で驚かす唯一人

としてそれを道理と思つたものは

なかつた。その話ばかりが済んだ

エ州のタケコンとシクリ

業者は使つていたのであるが、作
業者が終つて全員がタケコン河に

エ州のタケコンとシクリという
業者が終つて全員がタケコン河に

はネシア人の助手の光景を見
その中の二人を指して「二ニ

オラン・ビー・マカー」(この
を指して「二ニ」)

だんだんその理由がわかって
くる。その理由がわかって

くる。その理由がわかって
くる。その理由がわかって

くる。その理由がわかって
くる。その理由がわかって

くる。その理由がわかって
くる。その理由がわかって

くる。その理由がわかって
くる。その理由がわかって

武丸 立石 昇

湖員の間で中絶つて居る中絶
湖員の間で中絶つて居る中絶

湖員の間で中絶つて居る中絶
湖員の間で中絶つて居る中絶

湖員の間で中絶つて居る中絶
湖員の間で中絶つて居る中絶

湖員の間で中絶つて居る中絶
湖員の間で中絶つて居る中絶

湖員の間で中絶つて居る中絶
湖員の間で中絶つて居る中絶

湖員の間で中絶つて居る中絶
湖員の間で中絶つて居る中絶

湖員の間で中絶つて居る中絶
湖員の間で中絶つて居る中絶

湖員の間で中絶つて居る中絶
湖員の間で中絶つて居る中絶

湖員の間で中絶つて居る中絶
湖員の間で中絶つて居る中絶